

当院入館時発熱チェックの実施について



新型コロナウイルス感染拡大の現状から、来院者全員に以下のとおり検温及び問診チェックを実施します。

対象の方

・外来患者（時間外患者を含む）、付添家族、病棟からの呼び出し等の方など来院者全員

入館時の注意

・病院正面玄関にて対象者全員の方に対して、検温及び問診チェックを行います。
・検温にて37.5℃以上の方、または、問診チェックにひとつでも該当のある方は当院が設置する「発熱トリアージ室」で診察を受け、入館の可否を判定させていただきます。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

面会禁止について

浜松市内でも新型コロナウイルス感染が発生しています。当院では、入院患者さんの感染予防のため、当面の間、面会禁止とさせていただきます。入院患者さんが安心して治療に専念出来る環境維持のため、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

上記感染予防対策について、今後の情勢により、変更する可能性があります。最新の情報は、当院ホームページまたは、右記のQRコードからご確認ください。



QR



市民公開講座について

6月に開催を予定していましたが、市民公開講座について、新型コロナウイルス感染拡大の影響に鑑み、やむを得ず中止とすることとなりました。次回開催については当院ホームページ、広報はままつ等でお知らせいたします。

Topics

～2月から4月までの主な出来事を振り返ります～



院内研究会を開催しました。

2月15日、院内研究会を開催しました。「災害拠点病院としての当院の取り組みと課題」をテーマとして、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・事務員が現状と課題について報告しました。また、浜松医科大学吉野教授から、災害医療の基本原則を講演いただきました。地域での災害医療を担う災害拠点病院としての役割を今後も果たしてまいります。



12名の研修医が仲間になりました。



今年度は、12名の研修医が仲間になりました。臨床研修指定病院として、地域医療の貢献および次世代の医療人の育成に積極的に取り組んでまいります。



ふれあい



令和2年3月、正面玄関に入って東側に、案内板を設置しました((株)表示灯)。

この案内板には、フロア案内と当院周辺案内図を掲示しています。

また、向かって右側のタッチパネル画面では、浜松市、湖西市、磐田市の病院情報や、最新のニュース、天気予報なども見ることができます。ぜひ一度、ご覧ください。

目次

- ①アレルギー疾患センター新設について
- ②新型コロナウイルスの感染経路と感染予防
- ③当院入館時発熱チェックの実施について
- ④面会禁止について
- ⑤市民公開講座について
- ⑥Topics



発行：浜松医療センター
〒432-8580 浜松市中区富塚町328
TEL 053 (453) 7111
URL <https://www.hmedc.or.jp>

ご自由にお持ちください



アレルギー疾患センター新設について

アレルギー疾患センターの役割

アレルギー疾患診療拠点病院におけるアレルギー疾患センターの役割は、子どもたちのアトピー性皮膚炎と食物アレルギーを適切に治療して、将来の重症なアトピー性皮膚炎や喘息で苦しむ患者さんを一人でも減らすこと、さらにすでに重症化した喘息や花粉症、アトピー性皮膚炎で困っている患者さんたちに、今までの治療に最新の治療を組み合わせ、患者さんを悩ます症状をコントロールして生活の質を向上させることにあります。

対象となる患者さん

食物アレルギー

- ①食事に関連して心配な症状があるけど、食物アレルギーかどうか知りたい
- ②食物経口負荷試験をやってほしい（確定診断をしてほしい、治ったかどうかを知りたいなど）
- ③少しずつ食べられるようになりたい、できるだけ早く治したい
- ④栄養バランスを考えた栄養指導を受けたい
- ⑤保育園や学校での給食対応について相談したい
- ⑥アレルギー症状が出たときの対応方法を指導してほしい
- ⑦果物や野菜アレルギーがあるが対処方法や治療法を知りたい



アトピー性皮膚炎

- ①湿疹がなかなか治らないのでアトピー性皮膚炎かどうかを知りたい
- ②ステロイド軟膏の上手な使い方を知りたい
- ③他院で治療を受けているがもっと皮膚をきれいにしたい



アナフィラキシー

- ①アナフィラキシーの原因を知りたい
- ②アナフィラキシーを予防する方法や適切な対処法を知りたい
- ③エピペンを処方してほしい、エピペンの使い方を知りたい



診療時間と担当医

	担当	診療内容
月曜日 午後	坂井	・食物アレルギー ・アトピー性皮膚炎 ・アナフィラキシー
水曜日 午後	西田	・アレルギー全般 ・気管支喘息 ・特異的免疫療法
金曜日 午後	田口	・アレルギー全般 ・自己免疫疾患 ・免疫不全症 ・炎症性腸疾患

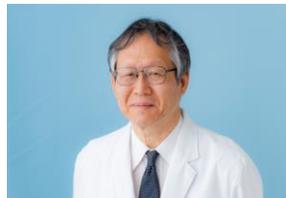
予約・お問い合わせ

- ①紹介状をお持ちの方
医療連携室（年末年始・祝日を除く）
月～金曜日：8時30分～18時00分
土曜日：8時30分～17時00分
電話：053-451-2760（直通）

- ②紹介状をお持ちでない方
小児科外来
電話：053-453-7111（代表）
9時から16時（平日のみ）



新型コロナウイルスの感染経路と感染予防



院長補佐 兼 感染症内科部長
矢野 邦夫

新型コロナウイルスの最大の感染経路は手指です。手指にウイルスが付着して、無意識のうちに眼、鼻、口に触れたときにウイルスが体内に侵入します。手指が顔面に触れる頻度は多く、1時間に23回も触れるというデータがあります。すなわち、3分に1回の頻度ということになります。

感染者が咳やくしゃみするときに、手で鼻と口を覆えば、その手指にウイルスが付着します。そのような手指でドアノブや手すりに触れると、ウイルスがそこに付着します。ウイルスは紙の上では最大1日、プラスチックの上では最大3日間、感染力をもっています。そのようなところに触れば、その手指にウイルスが付着し、そのまま無意識に手指に触れることによって、感染するのです。そのため、手指消毒はとても大切な感染予防となります。

もう一つの感染経路は飛沫です。これは咳やくしゃみをするときに口や鼻から飛び出す微細な水滴で、最大2メートル飛ぶことができます。感染者が咳をしたときにウイルスを含んだ飛沫が飛び散り、2メートル以内にいる人の眼や口や鼻の粘膜に付着すれば感染することになります。そのため、咳エチケットをすることが大切です。また、社会的距離を2メートルとすることも大切です。社会的距離は「他人に近付かれると不快に感じる距離」という意味ですが、この距離を飛沫が届かないところまで拡大します。



気管支喘息

- ①風邪をひくとゼイゼイするけど喘息かどうかを知りたい
- ②他院で喘息の治療を受けているが、よくならない
- ③ダニの皮下免疫療法や舌下免疫療法について知りたい、治療を受けてみたい



アレルギー性鼻炎と花粉症

- ①子供の鼻水が止まらないので、アレルギー性鼻炎や花粉症かどうか知りたい
- ②スギの皮下免疫療法や舌下免疫療法について知りたい、治療を受けてみたい

